

性暴力 被害者支援

について考える

講師
竹下小夜子さん

日時

平成21年1月21日(水)
17:30~19:30

場所

広島大学歯学部 大講義室
(歯学部A棟6階)

参加費

無料

どなたでも
ご参加ください

◆講師紹介

竹下小夜子さん

さよウイメンズ・メンタルクリニック院長 精神科医

平成9年に沖縄で女性のための精神科クリニックを開院。DV 被害者の心の回復や性暴力被害者の支援に取り組む。琉球大学・沖縄国際大学非常勤講師。

著書「Working With Women -性暴力被害者支援のためのガイドブック」フェミニストセラピー研究会編 フェミックス社、「ドメスティック・バイオレンス～サバイバーのためのハンドブック」原田恵理子編 明石書店、その他論文など多数。

「女性に対する暴力violence against women」とは、女性が「女性であるがため」にうける、虐待や性暴力などの被害(職場でのセクシュアル・ハラスメント、夫婦や恋人間でのドメスティック・バイオレンス、ストーカー、いたずら電話、電車や街での痴漢被害など)のことをいいます。

この問題は、家族や恋愛や性の問題がからむため、深刻な悩みを抱えていても、誰にも言えずに一人で抱え込むことが多いという特徴があります。DVの発見や初期援助などの段階で、医療従事者が果たす役割は重要です。ここ数年、DVや性暴力に対する医療機関対応マニュアル作成や研修の動きも始まっています。

性暴力被害について、一個人として、また、医療従事者として、どんな支援ができるでしょうか。一緒に考えてみませんか。

【主催・お問い合わせ先】

広島大学男女共同参画推進室 女性研究者支援プロジェクト(CAPWR)

広島県東広島市鏡山1丁目1-2 TEL:(082)424-4355

E-mail capwr55@hiroshima-u.ac.jp URL <http://www.capwr.com/>

協力: 広島大学大学院保健学研究科

後援: 広島県